

# SEA CLOCK



~作り方~

ver.2024.12.23

# エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----



注意点①

比率を間違えない

注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**  
主剤 硬化剤

硬化時間 **25°C 2日間**

適応作品 波アート等の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**  
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**  
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

使用用途 作品のコーティング

# 用意するもの



## 材料

- 波専用レジン
- シュプリームホワイト
- Cell Add
- Resin off
- 着色剤
- MDF時計盤(290mm)
- 時計針
- ムーブメント(18mm or 22mm)

## 道具

- 電子スケール
- ヒートガン
- 非接触型温度計
- ガストーチ
- スポット
- ビニール手袋
- 紙コップ(205ml・150ml・60ml)
- 混ぜ棒(太・細)
- 竹串
- 布
- カバー箱

## ★作り方★

### ①Resin offを塗る

板の裏にResin offを布で塗る。

※完成後、裏面に付いたレジンを取りやすくするため

※布推奨：筆だと、塗らなくてもいい箇所を塗ってしまう

※マスキングテープでも可⇒すごく手間がかかる



～机が平行であることを事前に確認～

### ②レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。

レジン使用量120gの場合(主剤80g:硬化剤40g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。





### ③ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が**40~42度**くらいになるまで放置する。

※寒いとレジンの硬化は遅く、暑いと硬化が早い

※目安：室温25度で15分~20分程度

化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行を温める。

その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、

1~2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。

※時計は複雑な形により作業が多いため、早めに進める



### ④ レジンを3つに分ける

紙コップに白波用レジン进行を10g取り分ける。

残った110gのレジン进行を2等分(海色用)にする。

### ⑤ レジンに着色剂を混ぜる

白波用レジンにはシュプリームホワイト(大豆1個分くらい)を混ぜる。青系の着色剂はレジン进行の硬化を早める性質があるので**青より遠い色から着色する。** 例) 白→緑→青

※マイカパウダーは粉っぽさがなくなるまで混ぜる

※色味の見方：カップに入ったままだと濃く見えるので混ぜ棒で

レジン进行をすくい、棒上のレジン或は垂れるレジン进行の色を見る

※着色剂を混ぜてからは硬化が早いので注意

※(対面レッスン限定)ラメをレジン进行に混ぜてもOK



### ⑥ 粘度を確認し、板に海色レジン进行を流し込む

板の下に紙コップを置き、板を浮かせた状態で作業を行う。

※数字の下に紙コップが来ないように注意

※レジン进行を流す前に板ががたつかないか再確認

1, 沖合の海色レジン进行を板に流す。

2, 浅瀬の色も流す。波の形も同時に作る。

2, 棒や指でレジン进行を広げ隙间を埋める。側面も忘れずに。

3, 2色の間を左右に指で往復しグラデーションをかける。

4, 中心の穴や、数字の隙间を竹串や混ぜ棒で塗る。

### ⑦ 粘度を確認し、白レジン进行にCell Addを混ぜる

白レジン进行を**流す直前にCell Add**をスポイトに入れて混ぜる。

**Point : Cell Addが揮発する際、波の網目模様を作る手助けをする**

※レジン进行が緩い場合は少し待ち、粘度がついてからCell Add添加

**※10gに対して4~6滴 (Cell Addの量は目安)**

※粘度を高めたレジン进行がサラサラに戻らぬよう添加量注意

※Cell Addは揮発性が高いため、蓋はしっかり閉める



### ⑧ 白レジン进行を波打ち際のフチに流す

海色レジン进行と板の両方に被るように白レジン进行で一本線を描く。

※白レジン进行と海色レジン进行の間に隙间が出来ないように流し、隙间が

できた場合は混ぜ棒などで埋める

※線幅は0.5cm~1cm程度 (細いと波の範囲は狭く、太いと広くなる)





## ⑨ ヒートガンで波を広げる

“**高温/弱風**”で白レジンの上を3往復当て、海色レジンと白レジンを馴染ませる。

“**高温/強風**”でヒートガンを左右に振りながら風を当てる。

**Point**：白レジンが海色レジンの上に、薄く膜を張るようなイメージで

※1ヵ所だけに風が当たり続けられない様に注意(凹み戻らなくなる)

※**基本1回勝負!**何度も風を当てると波の網目模様は崩れる

※(状況に応じて)剥げた部分に白レジンを足す

※白レジンが硬くなった場合はヒートガンで温めると緩む

※**白レジン**を足した後は**ヒートガン**を当てない(波が崩れるため)



## ⑩ ガストーチで気泡を飛ばし、穴の中のレジンを取り除く

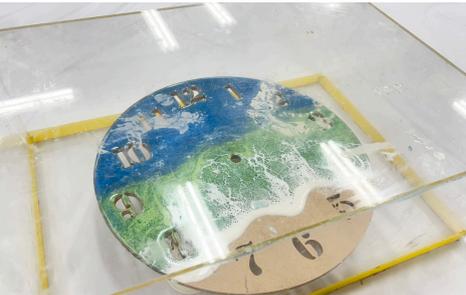
1点に集中して当てると焦げてしまうため、左右に振りながら流すように当てる。

※火を当てるのは沖合(奥側)の部分だけがおすすめ

→波側に当てると波が崩れる恐れあり

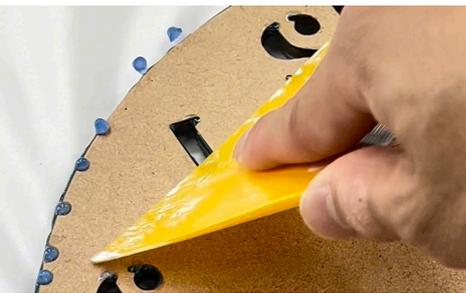
竹串を使用し数字や中心の穴の中にこぼれたレジンを取り除く。この作業を行うことで完成度が上がる。

※(対面レッスン限定)ラメを振りたい場合は気泡を取った後に振る



## ⑪ 約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



## ⑫ 完全硬化後にレジンを剥がす

ヘラのようなものでレジンを剥がす。

※ヒートガンなどでレジンを温めると更に取りやすい

※レジン痕が残った場合はヤスリで削る

  
**SEA CLOCK完成!**



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

**エポキシアート協会の情報は  
各SNSからご確認頂けます⇒**



LINE



Instagram

# ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料  
その他材料の購入はこちら⇒

